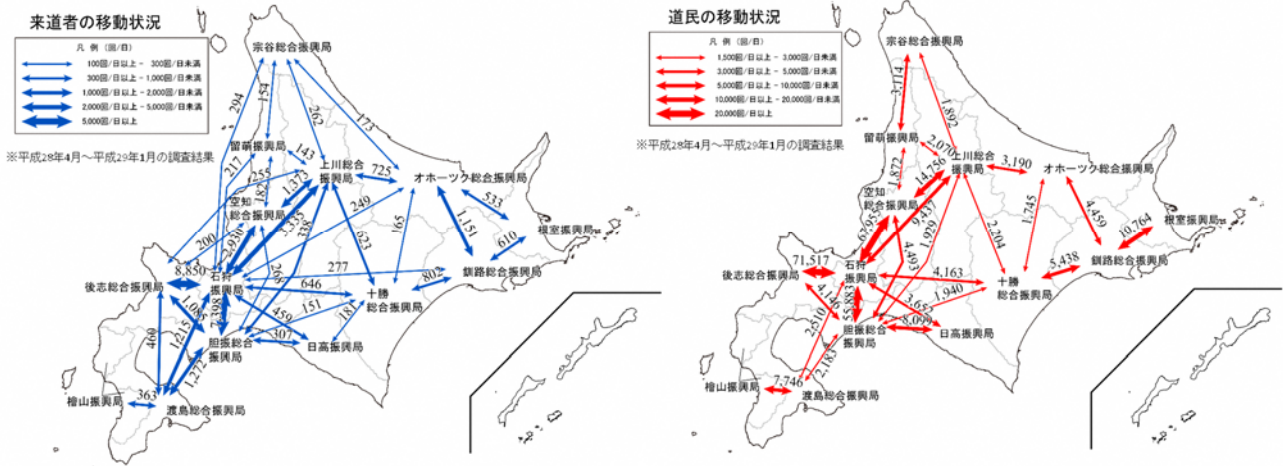


(3) 人流の現状と課題

➤ 人流の現状

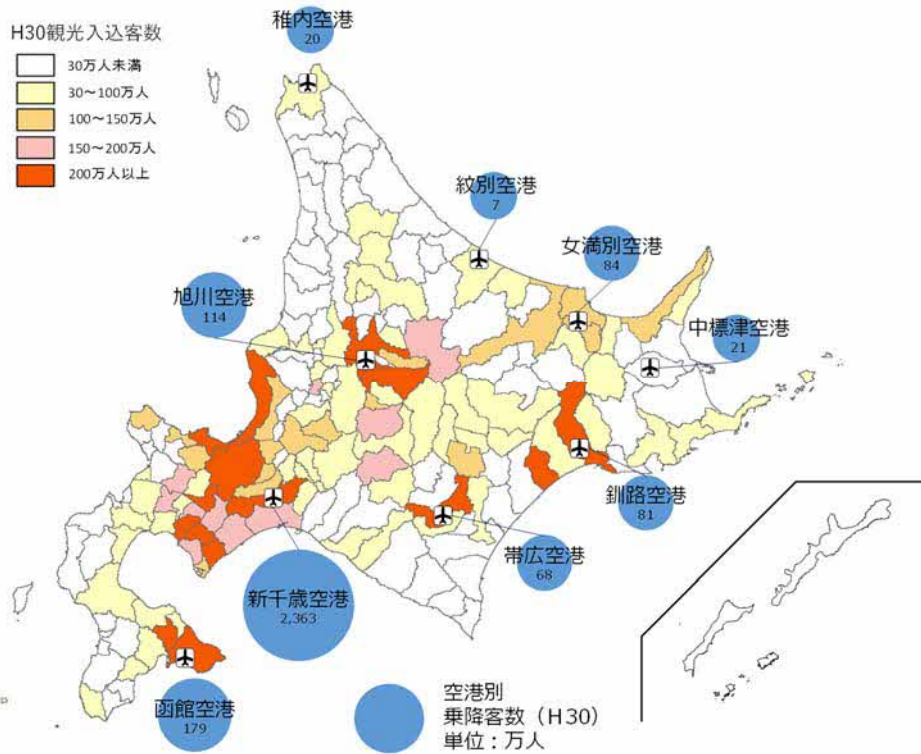
- 道内の旅客流動は、札幌を含む道央から各地への流動が多く、市町村別の観光入込客数は、札幌を中心とした道央都市圏や旭川市、函館市など、各地域の観光拠点となる都市に集中している。

■道内の旅客流動



出典：北海道新幹線開業後における道内旅客流動調査、「混雑統計（ZENRINDataCom）」

■主要な観光地と空港の位置関係

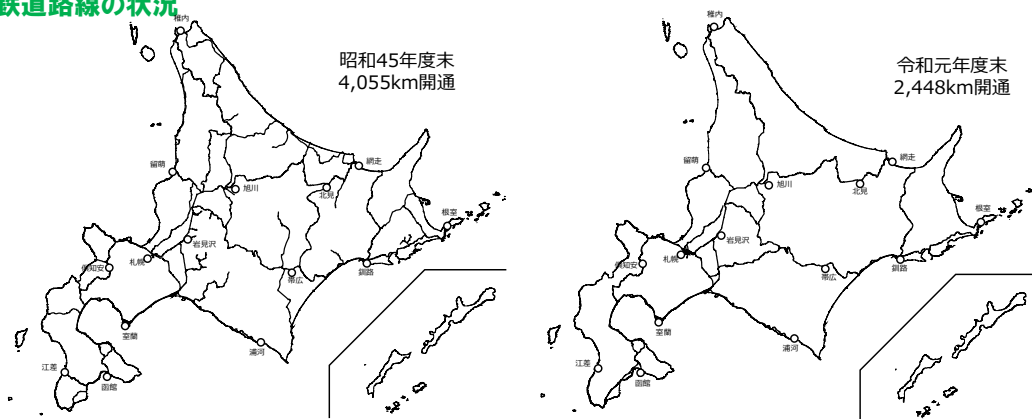


出典：北海道観光入込調査報告書（北海道）、空港管理状況調査（国土交通省）

➤ 近年の北海道内の交通状況変化と課題

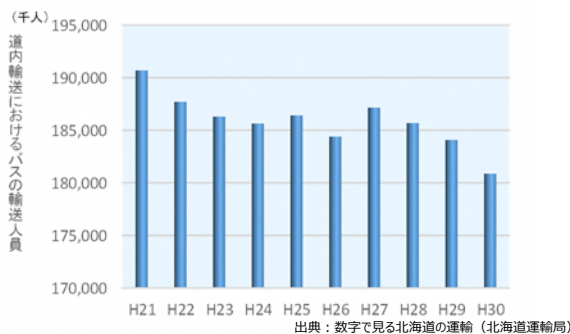
- 道内の鉄道路線の延長は、令和元年度末時点で2,448kmと、昭和45年度末時点の4,055kmに比べ、6割程度まで減少している。道と沿線自治体は、将来を見据えた公共交通ネットワークのあり方について、議論を積み重ねている。
- 路線バスについては、近年は輸送人員が減少傾向にあり、乗合バス事業の経常収支比率が恒常的に100%を下回っているなど、経営環境が厳しくなっている。
- こうした状況から、持続的な地域の公共交通の維持・確保が喫緊の課題となっている。
- 一方、道内の人口当たりの自動車保有台数は増加を続けており、自動車への依存が高まっているが、交通事故死者数が全国の都道府県別順位で高水準にあるといった課題もあり、安全で安心な道路交通環境の整備が求められている。

■ 道内の鉄道路線の状況

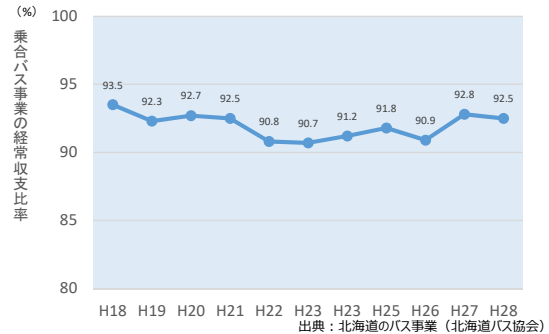


出典：数字で見る北海道の運輸（北海道運輸局）

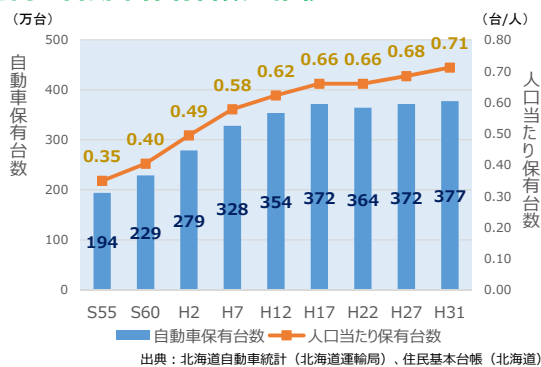
■ 道内のバス輸送人員の推移



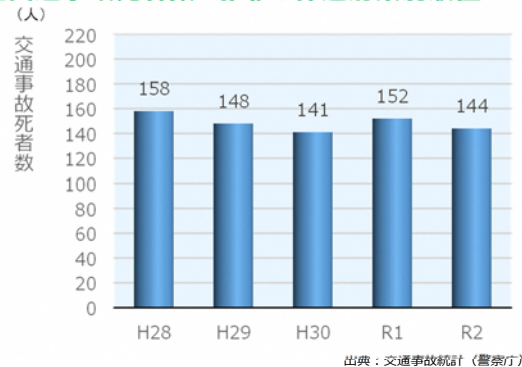
■ 道内の乗合バス事業の経常収支比率



■ 道内の自動車保有台数の推移



■ 交通事故死者数の推移と都道府県別順位

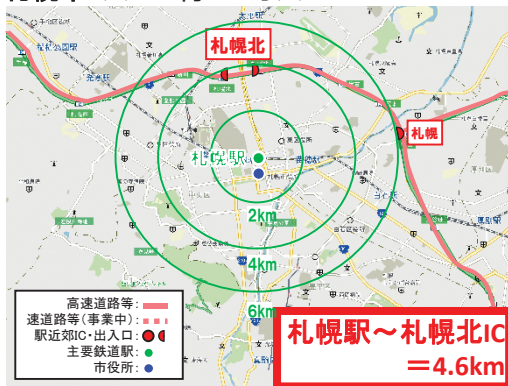


➤ 都心アクセスにおける課題

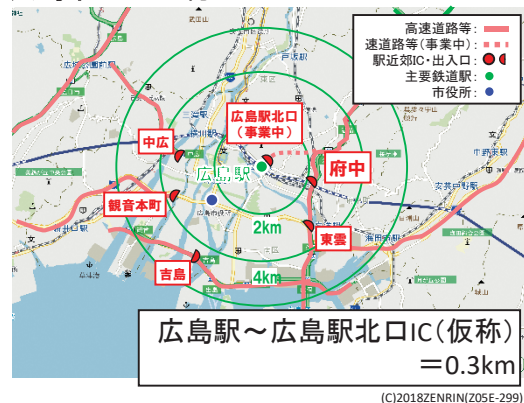
- 2030年度末に北海道新幹線の札幌延伸が予定されており、新幹線駅等を拠点とした観光交流の促進が期待される一方、札幌市は、中心駅と最寄り的高速道路のICとの距離は約4.6kmと、仙台市、広島市、福岡市といった他の都市と比べて長く、この間のアクセス性の改善が課題となっている。

■各都市の中心駅から最寄り高速ICまでの距離の比較

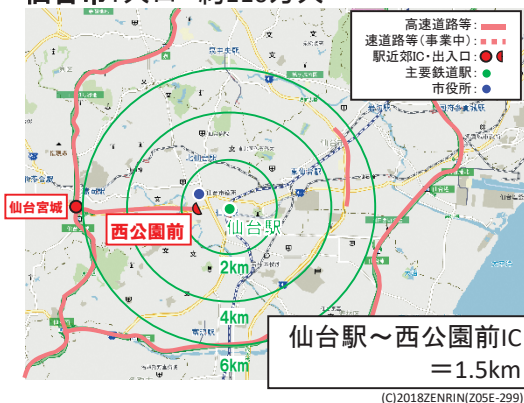
札幌市:人口 約200万人



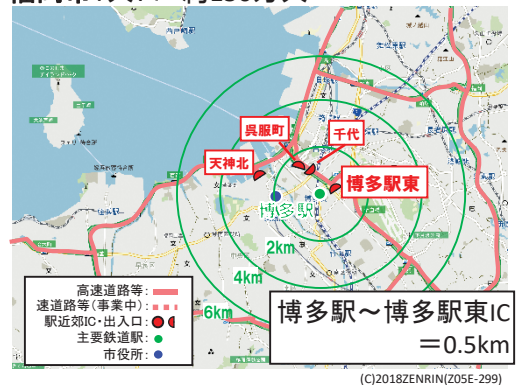
広島市:人口 約120万人



仙台市:人口 約110万人



福岡市:人口 約150万人



出典：第17回北海道地方小委員会（H30.7.31） 参考資料1

➤ 近年の公共交通の状況変化と課題

➤ 札幌駅周辺のバス乗降所の課題

- 札幌駅前の路線バス乗降所は、現在、札幌駅前バスターミナルのほか周辺の路上に分散して設置されており、乗り継ぎなど相互利用の利便性が低いことや、バス利用者の待合スペースが不十分なことにより、歩道の通行空間が阻害されるなどの課題を抱えている。

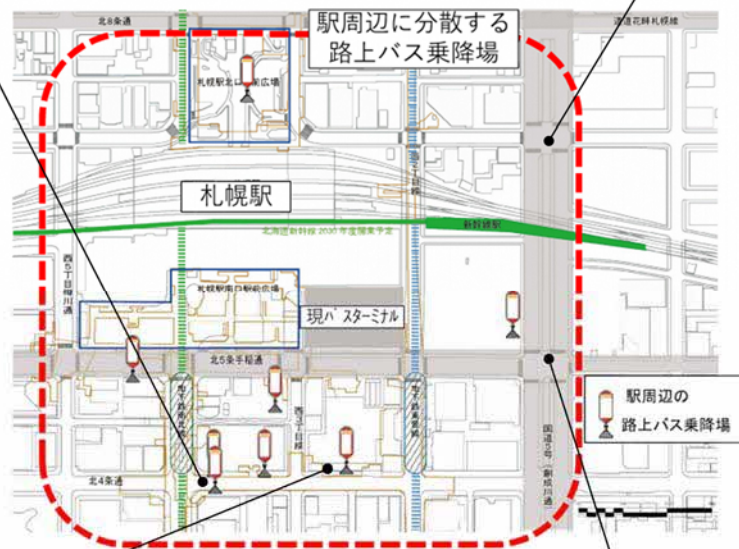
■札幌駅周辺のバス乗降所の分散状況と課題



札幌駅周辺バス乗降場
バスの乗降による車道の通行阻害



駐車待ち車列と歩行者と
バスとの輻輳



札幌駅周辺バス乗降場
バス利用者による歩道通行阻害



バス乗降所における
車道通行阻害

出典：第2回札幌駅交通ターミナル検討会資料（R2.5.8）（札幌開発建設部）